

先生おすすめの本を紹介します！

第7回は、湊口先生と末田先生のおすすめ本です。ここに紹介してある本は、生徒玄関前に展示してあります。気になる人は、ぜひ読んでみましょう！



湊口楓先生おすすめの本



『容疑者Xの献身』 東野圭吾 著 (文藝春秋)



「あり得ない？あり得ないなんてことはあり得ない」—中学生の頃、科学が大好きになるキッカケになった東野圭吾の『ガリレオ』シリーズのうち、特にオススメしたい一冊です。今回は天才物理学者・湯川学 vs 天才数学者・石神。湯川の冷静かつ論理的な謎解きは必見ですが、最後の様々な感情をめぐる人間ドラマにも注目してみてください。読み始めると止まらなくなるミステリーなので ぜひ！！

(主演：福山雅治で 映画にもなってます！！)



末田翔吾先生おすすめの本



『星やどりの声』 朝井リョウ 著 (角川書店)



「お腹を空かせていることは不幸なことである」とは、あらゆる小説や映画で語られてきた言葉である。確かに、バイトの給料日まで所持金 250 円だった大学生の頃を思えば、空腹であることは不幸だというのは、「当たり前」だと思う。空腹を不幸と思わなければ、飢餓や貧困やフードロスを問題にすることもないのかもしれない。今まで確かにそう思っていたのだが、『星やどりの声』を読了してからは少し違う。三男・真歩の友人・ハヤシくんは「毎日こんなに美味しいもの食べてるの？」おー！納得。何かが無いから不幸だと考えるより、何かがあるから幸せと考える。そんな「当たり前」を教えてくれる『星やどりの声』をオススメします。